

## 保育計画成果報告書

法人名等	特定非営利活動法人かもめ
施設名	東戸塚かもめ保育園
報告者（役職）	櫻井孝代（園長）
住所・連絡先	神奈川県戸塚区品濃町 515-1 ニューシティ東戸塚南の街 2-104
	☎ 045-382-9589
	E-mail lokki@kamome-hoikuenn.com

### ○タイトル（保育計画）

統合保育の中で共に育つ保育

### ○主な助成備品

リバーランドスケープ、滑り台、はいはいクライマー、絵本他

## 1. 保育計画策定の目的

横浜市戸塚区に位置する本園は、東戸塚駅から徒歩3分、平成28年4月開園の小規模保育施設です。特色としては、保護者の皆さんが当園に預けて良かったと思えるよう、安心安全を心がけ日々楽しい保育に努めていることです。併せて、発達のゆるやかなお子さんを積極的に受入れています。

駅近には園庭のない保育園も多く、たくさんの保育園の子どもたちが公園にあふれています。乳児にとって公園の固定遊具は、乳児向けでなく、使い勝手が悪く使用が難しいです。脆弱な予算のもとで保育園を開園し、園児のための環境整備が十分用意されていませんでした。身体を使ってたくさんの運動能力を向上させ、思考力、観察力も植え付けられるように、室内の運動遊具、絵本、室内遊具を購入しました。購入した遊具等で、子どもたちは常に身体、手、指を動かして遊んでいます。そして発達のゆるやかなお子さんも一緒に楽しめる環境を整備することにより、ノーマライゼーションを意識しながら、遊具等の遊びを日々繰り返すことにより、こども達の心身の育ちがたくましく成長するように保育を計画しております。

## 2. 具体的な実施内容

### 【身体を使って繰り返し遊ぼう】

近隣には公園がたくさんありますが、乳児が使うには危険な遊具が多くあります。そのため、室内でも危険性がなく安心して使用できる、折りたたみキューブ滑り台、ハイハイクライマー、ハイハイステップを購入しました。また、遊具を組み合わせ、滑り台の高さも月齢に合わせて調節、こども達は好きな高さの斜面を見つけて何度も好みの運動遊びの遊具を安全に楽しんでいます。リバーランドスケープは2歳児のこども達と並べながらコースを作り、歩行の完成に向けて1・2歳児は友だちと順番に歩いたり、ぶつかりあいながら、0歳児のこども達も段差のある床を登ったり降りたり楽しみました。



戸外あそびのできない雨天の日など、室内で運動あそびを十分に楽しんでいます。這う、登る、滑るなど、乳児にとって大切な動きを促すことが出来、体幹づくりに役立っています。



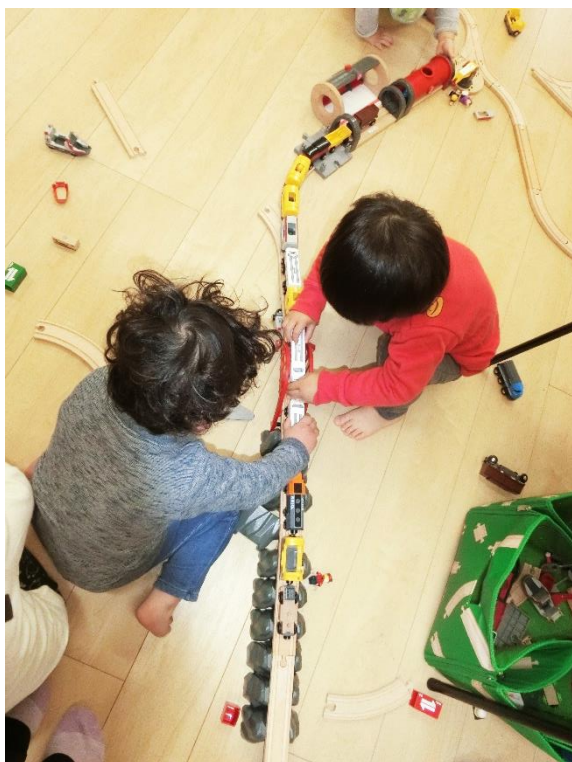
2歳児はバランスをとり、一歩一歩確かめながら、慎重に歩いています。



0歳児は、ゆっくり歩いたり、ハイハイしたり、片足をかけ、段差を感じ取ります。

### 【電車で遊ぼう】

手のひらに入るくらいの電車は磁石で連結するので、長くつなげてガタンゴトンと線路の上や、床の上を走らせます。線路は凹凸があり、長くつなげて駅や踏切を作ります。床いっぱい繋がついている線路の上をたくさんの電車をつなげて男の子は勿論、女の子も電車遊びを楽しんでいます。



2歳児は、自分自身が体験したことや、日々の生活で見聞きしたことを遊びに取り入れることが楽しくなる時期です。

「次は東戸塚～東戸塚～」と車掌さんの真似をしたり、思い思いに線路やトンネルをつなげて、想像力豊かに遊ぶ姿が見られます。



### 【絵本・紙芝居を読んでもらおう】

保育士の膝に座って読んでもらう絵本は、もう一回と何回も催促して読んでもらいます。保育士に読んでもらいながら、節を付けて皆で声を合わせて、身体を動かしたりする楽しい絵本もあります。大型絵本・紙芝居など子ども達はたくさんのお話を真剣に聞いてくれています。



子どもたちは皆、絵本や紙芝居が大好きです。集まって～と言われなくても保育士が絵本を持ってくると自然と集まってきます。

絵本の読み聞かせは言語の獲得に欠かせないものです。お気に入りのフレーズを繰り返し発することで発語の意欲をかき立てていきたいと思えます。



### 3. その成果と評価

#### 【身体を使って繰り返し遊ぼう】

室内に滑り台や、段差のある遊具を設定することにより、こども達のバランス感覚が養われ、繰り返し遊ぶことにより、体幹を上手く使えるようになり、歩行の完成に向けての心身の発達が培われました。又、自分の体をたくさん使って遊ぶことにより、危険に対する身の処し方が上手くなりました。

#### 【電車で遊ぼう】

線路をつなげ床いっぱいの線路遊びは、こども達は集中して遊びます。電車に乗った経験のある子は、「黄色の線まで下がってくださーい」とアナウンスを模倣したりと世界が広がります。集中して遊ぶことにより、こども達が落ち着いて活動出来るようになったり、人の話を最後まで聞き、理解する事も出来るようになってきました。

#### 【絵本・紙芝居を読んでもらおう】

たくさんの絵本の中から自分で選んだ好きな絵本を保育士の所に持ってきます。大好きな絵本を何回も何回も保育士に読んでもらうと、すっかり絵本のストーリーを暗記してしまいます。今度は読み手になり、お友だちや自分より小さなお友だちに、絵本を外側に向けて読んであげることが出来るようになる2歳児がいます。たくさんの本を読んでもらい、空想の世界が広がります。読んでもらうことに楽しさを感じ、静かに聞くことが上手になります。保育士の話も良く理解して聞くことが出来るようになってきました。

### 4. 今後の課題と展望

保育園開園時の助成は、こども達の発達環境整備の充実を図ることができ、本当に感謝しています。色々な運動遊びの用具や、絵本、遊具等を使用して日々の保育を充実させることは、一日のほとんど遊びの時間を保育園で過ごしている、こども達にとって、また、室内遊びの充実を図ることが出来、大変有意義でした。そして、保育士の言葉かけや、見守り、保育士としてのこども達に対する姿勢など、職員間で研鑽し、こども達も保育士も「明日もまた保育園に行きたい」と思えるような保育園づくりを、していきたいと思います。

以上